

平成26年度8月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成26年8月6日（水）午前11時～11時40分

場所 市役所2階第2委員会室

出席 市政記者クラブ13社

会見内容

1. 話題提供（4項目）

1. 武修館高等学校の甲子園出場について

- 7月24日（木）第96回全国高校野球選手権大会北北海道大会において武修館高等学校が初優勝し、甲子園出場が決定（市内の高校として35年ぶりの甲子園出場）しました。
- 激励の看板の設置（7月25日（金）／市役所前庭）、激励の懸垂幕（7月28日（月）／MOO）の設置など、全市一体となって応援したいと思っています。
- 市としては、スポーツ振興助成条例、カケハシ青少年育成基金に基づく助成金および第96回全国高等学校野球選手権大会補助金交付要綱に基づく補助金を交付予定となっており、さらに「くしろ阿寒百年水」を480本（20箱）送付いたしました。今後も試合日程に合わせて選手・応援団用として追加送付予定です。
- 本日、8月6日（水）午後4時からの組み合わせ抽選会で試合相手や日程が決まりますので、公務の都合次第ですが、できる限り応援に行きたいと考えています。

2. 町内会加入促進策について

- 町内会は、地域の住民が安心・安全で快適に暮らせる、住みよいまちづくりに取り組んでいくための自治組織であり、また、市政執行上も欠くことのできない自治組織です。
- しかしながら、本市の町内会加入率は現在50%を切り、毎年減少している状況に歯止めをかけるため、連合町内会において「町内会加入促進委員会」を組織し、これまでも啓発活動をはじめ、アパート・マンション管理会社への訪問など様々な加入促進運動を展開しています。敬意を表するところではありますが、残念ながら、目に見えた数字としての成果を挙げるに至っていません。

■ 町内会加入率の減少は、単身世帯の増加や地域の繋がり希薄など様々な要因が考えられますが、減少に歯止めをかけるためには、こうした取り組みをしっかりと継続していくことと、連合町内会と市（行政）とのさらなる連携強化が必要であると考えております。

■ 来年、平成27年に連合町内会創立50周年を迎えるにあたり、これまでの双方の連携をさらに強化するため、新たに、連合町内会と鉏路市との「連携基本協定書」を締結することを提案する考えでおります。連合町内会と鉏路市がそれぞれ果たすべき役割を再認識し、市民主体のまちづくりをより一層推進するため、連町と市の協働による取り組みの指針を定める予定です。

■ 例えば、

- ① アパート・マンション入居者の加入促進にむけた不動産関連団体との連携
 - ② 公営住宅入居者の加入促進にむけた自治会や住宅公社との連携
 - ③ 企業、官公庁、学校等への加入要請活動の展開 など
- を考えております。

■ 具体的な「連携基本協定書」の内容は、今後、連合町内会事務局及びに町内会加入促進委員会の場で、協議し、出来れば10月の「町内会加入促進強調月間」の前に締結し、加入要請活動に弾みを付けていくことを期待しております。

3. 市民憲章運動推進第49回全国大会鉏路大会および鉏路市民憲章制定50周年記念式典の開催について

■ 鉏路市民憲章は昭和39年に制定され、平成17年の3市町合併時の協議においても、新しい鉏路をより豊かで明るく住みよいまちにすることを念願して新鉏路市の市民憲章として採用されました。

■ 昭和39年の制定から50周年を迎える、記念すべき年に「市民憲章運動推進第49回全国大会鉏路大会」および「鉏路市民憲章制定50周年記念式典」を開催することにより、まちづくりの根幹ともいえる市民憲章を再認識し、次世代につなぐまちづくりをめざすために市民憲章運動推進の機運を高めてまいります。

■ 全国大会では、特別講演（講師：東京大学名誉教授 月尾嘉男氏／地域文化と自然の研究を通じたまちづくりについて）、市内でまちづくり活動に尽力されている個人・団体の事例発表やパネルディスカッションを通して、鉏路市のまちづくりを全国に発信していきます。

■ 今回の全国大会等には、市民憲章の推進に携わる皆さんが全国各地から500名ほど参加予定となっています。

【市民憲章推進第49回全国大会釧路大会】

- 9月5日(金) 14:00 全国市民憲章運動連絡協議会第2回役員会
18:00 全国市民憲章運動連絡協議会役員交流会
- 9月6日(土) 10:30 全国市民憲章運動連絡協議会総会
12:40 市民憲章運動推進第49回全国大会
・ 歓迎アトラクション (ヒートボイス)
・ 記念講演
・ パネルディスカッション
16:30 市民憲章運動推進第49回全国大会交流交歓会
- 9月7日(日) 終 日 視察研修

【釧路市民憲章制定50周年記念式典】

- 9月6日(土) 9:00 釧路市民憲章制定50周年記念式典

4. 釧路湿原・阿寒・摩周観光圏「食の安全表示おもてなし向上プロジェクト」および「たんちょう釧路空港から始まる旅キャンペーン」について

- 釧路市と弟子屈町で構成する「釧路湿原・阿寒・摩周観光圏協議会（会長 釧路市長 蝦名大也）」の新たな2つの取り組みについて、報告します。

- 「食物アレルギーや世界からのお客さまなど多様な旅行者へのおもてなし向上基本マニュアル」の発行
 - ・ 食物アレルギーや宗教・信仰上などの理由から食事に気を付けているお客様に、圏域内で安全・安心で楽しい滞在や周遊を楽しんでいただくことを目的としています。
 - ・ “おもてなしの基本”として、外国人のお客様でもわかりやすいようにと消費者庁の「アレルギー表示に関する情報」などを参考に「ピクトサイン」や「外国語」での使用食材の表示様式などを定めています。
 - ・ 観光圏ポータルサイトにて公開中。今後、エリア内のホテルやレストラン、飲食店などへの配布予定です。
 - ・ 今後は、このマニュアルを基に表示を実施したホテルやレストランなどを、各観光協会ですリストアップし、ホームページなどで積極的に情報発信を行います。
- 「たんちょう釧路空港から始まる旅キャンペーン」の実施
 - ・ ①道東の旅の入り口、②観光圏情報の入り口、③商品の入り口として、釧路空港をクローズアップし発信強化すると同時に、空港愛称の「たんちょう」ブランドとあわせ「涼しい釧路」のブランドの浸透を図ることを目的としています。

- ・夏季キャンペーンとして、名古屋、伊丹線就航を機に「たんちょう釧路空港から始まる涼しい北海道」のPRとしてポスターを100部作成し、各地区から観光関係機関等に配布を依頼し、現在、中部セントレア空港、伊丹空港をはじめとした関係機関等に掲出しています。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 甲子園に関して、パブリックビューイングの開催予定があるのか教えてください。

(市長)

- ・ パブリックビューイングという形では考えていませんが、市役所や行政センターなど公共施設で見ることができるようにする予定です。

(質問)

- ・ 甲子園の応援には、市長の他、幹部の方も行くのか、お聞かせください。

(市長)

- ・ 日程が判明した段階で、検討したいと思います。

(質問)

- ・ 「おもてなし向上マニュアル」は、どのような部分が道内初の取り組みになるのか教えてください。

(阿寒観光振興課長)

- ・ メニュー表示自体すでに実施されている事業者はいますが、他の自治体と連携した、観光圏として広域的に取り組むというのが道内初になるのではないかと聞いております。

(市長)

- ・ 広域的に一体となって地域の魅力を高めていこうということが初めての取り組みというところです。

(質問)

- ・ 同マニュアルは、どのくらい作成したのですか。

(阿寒観光振興課長)

- ・ 1,000部作成しました。ホームページからダウンロードも可能となっています。

す。

(質問)

- ・ 同マニュアルは、1,000部作成とのことですが、費用はどれくらいかかったのか教えてください。

(阿寒観光振興課長)

- ・ 後ほど確認してお知らせします。
⇒1,000部作成し、費用は27万円です。

(質問)

- ・ 「思い出のマーニー」を勝手に応援しますという取り組みについて、興業側からの反応があったのか、お聞かせください。

(市長)

- ・ あくまでも市として勝手に応援しているということです。

(総合政策部長)

- ・ チラシなどを配布していることについては、ありがたいとされています。

(質問)

- ・ 「思い出のマーニー」について、その後、具体的な動きがあるのかお知らせください。

(市長)

- ・ フォトコンテストは、現在、実施しています。その他の動きは、検討中です。

(質問)

- ・ 先月末、中央への要請行動を行いました。経済産業省でのコールマインについてのご意見をどう感じたのか、お聞かせください。

(市長)

- ・ 北海道知事が29日に大臣に要望し、前向きな発言があったとの話が新聞等にも出ていました。翌日、30日には市単独で要望、31日には北海道石炭対策連絡会議と一体で、と3日連続で要望しました。具体的な回答はありませんでしたが、コールマインでの研修事業については、高い評価をいただいています。研修事業の継続のためには、生きたヤマの存続が必要不可欠です。地元の代議士の方々にも政府に対して力強くお話しいただいています。ありがたく思っています。

(質問)

- ・ クルーズ船が耐震岸壁に入らず、中心市街地に観光客が入らない状況が続いていることについて、どのように考えているかお聞かせください。

(市長)

- ・ 耐震岸壁に入りたいとは、運航会社にはお願いしていますが、最終的には船の責任者である船長が現場で判断しており、残念に思っています。今後も入港予定がありますので、耐震岸壁に入りたいと話をしていきます。

(質問)

- ・ クルーズ船は、世界的に日本からオーストラリア方面に移行している状況にありますが、そのことについてどのように考えるかお聞かせください。

(市長)

- ・ どのようなコースを組み立てていくのかということは、ビジネスの問題ですが、クルーズ船のプランニングは2年前に行っており、今年度のおもてなしの取り組みは今後（再来年以降）につながっていくと考えていますので、引き続き、この地域の食材など、魅力を発信していきます。

耐震岸壁は国内向けの設計となっており、世界のクルーズ船の大型化に対応できないこともあります。この岸壁を利活用していただけたらとに向けてプロモーションをすることも検討していきたいと思っております。

(質問)

- ・ 北電の値上げについて、どのように受け止めているのか、また今後の対応について、お聞かせください。

(市長)

- ・ 市にとっては非常に大きなダメージになります。前回の値上げで約9千万円の影響があり、今回の値上げ率を合わせると年間で約3億円近い負担の増加が見込まれ、市の財政運営に与える影響は非常に大きいと考えられ、誠に遺憾です。

今後、施設所管課において精査しますが、仮に10月実施となりますと本年度予算の不足が懸念されることから12月議会に補正予算を計上することも視野に入れながら対応を考えていく予定です。